



やまなみ

第6師団

師団長 統率方針

任務完遂

第6師団(師団長 鬼頭陸将)及び神町駐屯地(駐屯地司令 叶陸将補)は4月17日、第6師団創隊60周年・神町駐屯地創立66周年記念行事を挙行了しました。

# 第6師団創隊60周年 神町駐屯地創立66周年記念行事



第6師団(師団長 鬼頭陸将)及び神町駐屯地(駐屯地司令 叶陸将補)は4月17日、桜の開花を迎えた神町駐屯地において、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に留意し、「第6師団創隊60周年・神町駐屯地創立66周年記念行事」を3年ぶりに挙行了した。

駐屯地中央庭で実施された観閲式での式辞において、鬼頭師団長は、来場者の方々に感謝の言葉を述べるとともに、隊員に対して「一事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託に応える」という服務の本旨を、今一度心に刻んで隊務にまい進し、さらなる飛躍・躍進の未来へともに頑張っていこう」と要望した。

観閲行進では、観閲部隊指揮官 叶陸将補以下656名、16式機動戦闘車など車両167両、航空機2機が威風堂々と行進し、第6師団の威容と真姿を披露した。引き続き増強普通科中隊の機動展開から敵陣地攻撃による戦術訓練展示が行われ、会場となった中央営庭では機動戦闘車や火砲の轟音が響き、煙幕の中、隊員が空地の掩護下で敵陣地に突撃していく迫力ある展示に、観客席から大歓声と盛大な拍手が寄せられた。

また、装備品展示や装甲車等の体験搭乗などを行い、第6師団に対する理解と信頼、親近感を深めてもらうことが出来た。

第6師団及び神町駐屯地はこれからも「任務完遂」の信念を堅持し、何時、如何なる事態にも即応して任務を完遂するべく、進化を続けていく。



～地域とともに60年 躍進の未来へ～



第20普通科連隊(連隊長 荒木1佐)は、4月27日から29日までの3日間、山形県内全域で行われた「第66回山形県縦断駅伝競走大会」に、協力隊長 本部管理中隊 齋藤2尉以下26名、車両14両をもつて大会に協力しました。

本大会は山形新聞、山形放送、山形県陸上競技協会などが主催し、山形県の各市町村を縦断し山形市(山形メディアアール)がゴールとなるコース(全29区間、総距離305.6km)を県内11地区11チームが参加するもので、連隊は昭和50年代から大会に協力しています。大会期間を通じて役員の輸送、通信連絡等に従事し大会運営に協力しました。

また、連隊からは選手として第3中隊 齋藤3曹が参加し、県内を駆け抜け、北村山チームの活躍に貢献しました。



1区を激走する齋藤3曹

## 第66回山形県縦断駅伝競走大会支援 第20普通科連隊



40mm てる弾射撃



120mm 迫撃砲射撃

令和3年度第11次連隊野営訓練(戦術射撃能力の練度向上の邁進) 第22即応機動連隊

第22即応機動連隊(連隊長 石井1佐)は、令和4年3月19日から27日までの間、王城寺原演習場(宮城県加美郡色麻町)において令和3年度第11次連隊野営訓練を実施しました。

本訓練は、中隊・小隊規模の射撃及び爆破訓練を行い、即応機動連隊における部隊装備火器の習熟、戦闘射撃能力の向上を図るため実施され、第1普通科中隊は、小銃小隊と連携した戦術射撃訓練、第2普通科中隊は、81mm迫撃砲、40mm てる弾射撃及び爆破訓練、40mm 迫撃砲射撃訓練及び手榴弾投てき訓練をそれぞれ実施しました。

各部隊は、隊員各個の練度向上を図るとともに各小隊間の連携強化並びに即応機動連隊の中隊としての戦い方を確認し、新たな気づきと課題点を把握することが出来ました。

連隊は、本訓練で得た教訓を糧に、更に強い部隊を目指して、今後の練成に邁進する所存です。

第6師団Twitter フォローお願いします





山形県縦断駅伝競走大会 山形県立山形駅伝競走大会 第20普通科連隊